

12月になり人も街も慌ただしくなってきました。そんな時こそ事故や犯罪にあわないよう特に注意が必要です。今月は加古川警察署の矢野浩司さんに加古川署管内の事故等の発生状況についてお話を伺いました。

“私は大丈夫”が一番危ない

心にゆとりを持つて

加古川署管内は人身事故が兵庫県下49警察署の中で最も多く発生しており、なかでも朝の通勤時間帯が多いという結果が出ています。それも管内北部の比較的交通量が少ない所で重大な事故が発生しており、急いでいる出勤時に郊外で車が来ないと思って油断しスピードを出しすぎて事故を起こした、ということが考えられます。

最近ではあおり運転も問題になっていますが、イライラや焦りは事故を起こす大きな要因となります。車を運転する時は急がず心にゆとりを持って運転してください。

飲酒運転、絶対ダメ!

私が加古川警察署に着任して何よりも驚いたことは、昨今、飲酒運転により尊い命が奪われるニュースが多く報道されているにも関わらず、管内での飲酒運転が非常に多いことです。今年9月末の飲酒運転の検挙74件は兵庫県内最多で、次いで姫路署49件の1.5倍にも上る数です。また無免許運転の検挙数も県下2位でこのような結果は残念でなりません。これは「皆さん気をつけましょう」レベルの話ではなく、交差点や信号機に對するモラルが著しく低いと言わざるを得ず、驚きを通り越して怒りにも似た思いが沸き上がってきました。

飲酒運転は殺人にも匹敵する犯罪で、署員にも取り締まりを強化するよう指示しています。これから宴席に出席する機会が増えてくると思いますが、飲酒運転は絶対にしないでください。

また、年末は何かとお金がかかりますが、家でもあり窃盗も多くなります。家の戸締りや自転車の施錠を忘れないようにしていただくのももちろんですが、最近では車にかばんなどを置いたままにして車から離れ、ガラスが割られて盗まれる被害も起きています。日頃から貴重品は身に付けておくようにしましょう。

お金の話は要注意!

最近では還付金詐欺などの「特殊詐欺」

といわれる犯罪が巧妙化しており、犯罪者は次から次へと新しい手口を考えられます。被害に合うのは高齢者だけではなくありません。有料サイト利用料金の架空請求や、ギャンブル必勝法情報提供名目の詐欺、コンビニのマルチ端末機（※ロッピーやファミポート等）を使ったコンビニ決済での詐欺も増えてきました。

公的機関から還付を電話で言ってくるなどあり得ません。お金が戻ってくるように見せかけて、ATMで巧みに操作を誘導し、気づいた時にはあなたの口座から相手口座へ大金が振り込まれてしまっています。

電話やメールによるお金の話は間違いなく詐欺です。

電話がかかってきた際は慌てて行動せず、まずは警察へ相談してください。

また、特殊詐欺の被害を防ぐには周りの方の協力が必要です。携帯電話を操作しながらATMなどを操作している方、高齢者の電子マネーの購入や高額出金が見受けられた際は、勇気を持って声をかけてください。

事故も犯罪も皆さんの心がけ一つで減らすことができます。我々署員も一丸となって加古川の治安の維持に努めてまいりますので、安全・安心のまちづくりのため、皆さんのご協力よろしくお願いたします。



加古川警察署
署長 矢野 浩司 さん